

【SRA Holdings】 Special Mail (No. 157) 2018 年 5 月

(株)SRA ホールディングス 代表取締役社長の鹿島です。

本日、平成 30 年3月期決算を発表しました。今回の発表の要点は下記のとおりです。

「決算付属資料」、「平成 30 年4月 月次売上高速報」も併せて発表しました。

詳細は、発表資料をご覧ください。

(1) 平成 30 年3月期(2017 年度)業績

◎前年比

- ・売上高:増収
- ・収益:粗利益、経常利益はいずれも増益、営業利益は横ばい、当期純利益は減益
粗利益率 21.6%

◎業績予想比

- ・売上高は下回ったものの、営業利益、経常利益、当期純利益は業績予想を上回る

◎配当金

[期末配当金=70 円(創業 50 周年記念配当 10 円を含む)]

→1株当たり年間配当金=110 円(普通配当 100 円、創業 50 周年記念配当 10 円、20 円増配、配当性向 65.4%)

(2) 平成 31 年3月期(2018 年度)業績予想

平成 27 年6月発表の中期経営計画は延長します。中期経営計画の達成を目指し、2018 年度の連結業績予想は下記の通りとします。

◎売上高 400 億円、営業利益 44 億円、経常利益 44 億円、当期純利益 28 億円、1株当たり当期純利益 227.56 円

◎配当金・・・従来通り配当性向 50%を目処に、[安定的な高配当]を目指す

- ・株主還元の更なる充実を図るべく、

1 株当たり配当金=105 円(普通配当/5円増配、中間配当:40 円、期末配当:65 円)を計画
配当性向 46.1%を予想

(3) 平成 30 年3月期 業績(連結)前年比

◎売上高: 394 億 10 百万円(0.7%増)

主な要因

- ・開発事業(5.5%増):一部の製造業、銀行、サービス業が増加
- ・運用・構築事業(5.4%増):企業向けおよび大学向けがいずれも増加
- ・販売事業(7.9%減):(株)AIT の機器販売が減少

◎粗利益:85 億 14 百万円(3.7%増)

◎粗利益率:21.6%(前年同期 21.0%)

主な要因:利益率向上施策により粗利益が増加

◎営業利益:41 億 75 百万円(0.1%減) 営業利益率:10.6%(前年同期 10.7%)

主な要因:新規事業推進に向けた組織の設置と海外連結子会社の
企業価値向上を目的とした投資により、販管費が増加

◎経常利益:47億62百万円(13.1%増) 経常利益率:12.1%(前年同期 10.8%)

主な要因:営業外収益(持分法適用会社における一過性の利益)の計上

◎当期純利益:20億60百万円(22.2%減)

主な要因:特別損失(訴訟関連損失)の計上

<発表資料> <http://www.sra-hd.co.jp/ir>

[平成30年4月 月次売上高]

(株)SRA、(株)AIT、国内子会社、海外子会社=いずれも堅調に進捗

<発表資料> http://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2018.html

人材確保が難しくなっていくなか、従来型の既存ビジネスは生産性向上が必須です。一方、SRAグループが推進している「自社IP製品ビジネス×海外ビジネス」は、「価値」を売るビジネスであり、

IPが生み出す価値により、高粗利益率を得ることができるビジネスモデルです。

2018年度も成長市場、成長分野に向けたビジネスの推進に努めると共に、収益性のさらなる向上を目指してまいります。

また、すでに実施しております「自社IP製品ビジネス×海外ビジネス」の投資につきましても

企業価値向上に向け、積極的に進めてまいります。

皆様には引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。